

クリニックラウンってなに?

クリニックラウンとは、病院を意味する「クリニック」と道化師を指す「クラウン」を合わせた造語です。入院生活を送る子どもの病室を定期的に訪問し、遊びや関わり(コミュニケーション)を通して、子どもたちの成長をサポートしながら笑顔を育む道化師のことです。



クリニックラウンは、優れた表現者であると同時に、子どもとの接し方、子どもの心理、保健衛生や病院の規則にも精通したスペシャリストです。

クリニックラウンの役割とは?

活動の主役はあくまで「こども」

病気の治療のために様々な制限の中で入院生活をしている子どもたちが、おもいきり笑い、主体的に遊ぶことのできる環境をつくること、それがクリニックラウンの役割です。

子どもの成長や発達をサポートするという視点を持ち、医療スタッフと協働し、子どもの療育環境の向上を目指し活動しています。



子どもの成長に欠かせない3要素



子どもは家族や地域、学校の友だちなど、他者との関わりの中で、様々な体験をし、その関係性を深めることで生き生きとした生活を送ります。しかし、入院生活が長くなると、子どもの成長に大切な出会いや遊ぶことが制限され、子どもが子どもらしい時間を過ごすことが難しくなります。

そこでクリニックラウンは、遊びや会話による相互のコミュニケーションを通じ、「わ～すこい」という驚きを届けます。また、遊びの中から生まれてくる子どもたちの瞬間的なひらめきや新鮮な発見を大切にしています。「こんなことをクリニックラウンにしてみよう」といった子どもの自主性や、訪問後も「楽しかった!」「今度会ったときはこうしよう」という子ども自身の能動性を引き出します。

3要素の充実をめざしクリニックラウンは病院を訪問します

クリニックラウンの特徴

1. 外見

クリニックラウンは、道化師の象徴である赤い鼻をつけていますが、道化師特有のメイクをしたり、派手な衣装を着たりはしません。そこには、病院を訪問するうえで欠かすことのできない衛生面への配慮と、より豊かなコミュニケーションを育むための工夫がなされています。



2. 二人一組

クリニックラウンは常に二人一組で病棟を訪問します。これにより、子どもたちがクリニックラウン同士の関係性や遊びに触れることができ、人と関わることの楽しさを体験してもらうことができます。

3. 専門教育と遵守規定

子どもの心理や衛生管理などの臨床現場に必要な研修を受け、日本クリニックラウン協会の実施する認定試験を合格した者のみが、協会認定のクリニックラウンとして活動しています。また、協会が定める倫理規定や病院訪問の基本原則がまとめられたガイドラインの遵守を義務づけています。

4. 定期的な訪問

院内のイベントにあわせて、ロビーやプレイルームなどでパフォーマンスをするのではなく、隔週または毎月1回、子どもたちの病室やベッドサイドを定期的に訪問しています。



「こどもを超えたスーパーこども」

SUPER KODOMO!

日本クリニックラウン協会では、クリニックラウンのことを「こどもを超えたスーパーこども」と定義しています。つまり、子どもよりも子どもらしい心と発想を持ったクリニックラウンに出会うことで、子どもは驚きや喜び、そして豊かなコミュニケーションを体験することができます。



子どもが子ども本来の生きる力を取り戻し、希望を持って将来の展望を描くためには、今この瞬間が輝いている必要があります。子どもは一人ひとり、成長や発達のスピードが違います。だからこそ、クリニックラウンは単に笑顔になることを決して急がせず、じっくりと子どもと関わることを大事にしています。

子どもが自分自身を心から愛せるように

クリニック라운の1日

1 集合・出発

各自、自宅などで準備運動をして出発します。
 クリニクラウンメンバーで集まって事前打ち合わせをして、病院へ移動します。
 協会事務局へ訪問開始の電話連絡をいれます。

準備運動 Warming-up

さあ、ウォーミングアップ!
 病棟に元気を届けるためには、準備運動も念入りに!
 体温も毎日測って、健康管理をしているよ。

2 訪問準備



消毒

病棟に持ち込むものは、衣装やおもちゃも全部消毒するんだよ。
 とがった道具や壊れやすい道具は使わないようにしているんだよ。



協会事務局へ訪問終了の電話連絡と報告をします。帰宅後は、必ず報告書を作成して、協会事務局に提出しています。

※適切な活動が行われているか協会での監査を行います。



5 訪問後カンファレンス

訪問時の子どもたちの様子を病棟スタッフと共有する大切な時間。クリニクラウンは、訪問中に関わりを通して子どもたちの変化をキャッチ。そして、家族や子どもの様子などを病棟スタッフに伝えるんだ。子どもの成長や発達という視点で子どもたちのことを話し合う重要な場なんだよ。

更衣や片づけ

病棟に持ち込んだ道具や衣装を消毒。

消毒

「持ち込まない、持ち出さない」という、感染の媒介者にならないことがクリニクラウンの鉄則です。

7 報告

6 訪問終了



3 病棟打ち合わせ

病棟スタッフとの打ち合わせ (conference)

子どもたちの体調の確認はもちろん、心の状態を把握する大切な打ち合わせです。
 カンファレンスで確認する情報は、治療計画だけでなく、その日の体調や遊びに対する積極性、コミュニケーションに対しての動機づけなどです。
 打ち合わせ内容を参考に、訪問の順番やマスク着用の有無などを確認します。

NOSE-ON (ノーズオン)
 クリニクラウンの象徴といえる赤い鼻、これをつけているときを「ノーズオン」というんだ!



4 病棟訪問

いよいよ子どもたちのところへ!
 クリニクラウンは2人1組で行動しているんだ。



生まれたばかりの赤ちゃんのいる病棟にもクリニクラウンは訪問するんだ。
 そして、子守唄のようなやさしい時間が広がっていくんだよ。

病棟スタッフや家族とも積極的にコミュニケーション!
 子どもたちと接する人達に、リラックスしてもらうこともとても大切なことなんだ。
 そうすることで病棟に笑顔がいっぱい広がるんだよ。

クリニクラウンは、子どもが子どもらしく過ごせる「こども時間」を届けているんだよ



時には、なんだろうという顔でじっと見つめられることも…。でもその一生懸命のまなざしはきらきらと輝いていたよ。



ひとりの子どもの関わる時間は10分~15分だけけど、遊びの中から生まれる楽しさや発見は子ども達の成長には欠かせないものなんだ。

日本フリクラウン協会の活動

● クリクラウンの養成

子どもとのコミュニケーションや児童心理、保健衛生や病院規則にも精通したスペシャリストであるクリクラウンの養成を行います。

※クリクラウンになるためには、養成トレーニングから臨床研修に進み、認定試験に合格することが求められます。



クリクラウンの養成トレーニングについて

養成トレーニングは、入院している子どもや家族との関わりに特化したものです。相手に恐怖感を与えないコミュニケーションの取り方や状況判断など、病室でのマナーと対人援助技術を含む実践的なカリキュラムが組まれています。講義では、子どもを取り巻く環境や子どもの心理、疾患、保健衛生の基礎知識を学びます。クリクラウンに求められるものは、道化師ならではの表現力と子どもの権利擁護者としての視点など多岐にわたります。



● クリクラウンの派遣

日本の病院で長期入院している子どもたちの成長や発達をサポートするためにクリクラウンを病院へ派遣します。



● 啓発・ネットワーク活動

医療関係者や家族などをはじめ、一般の皆さんにもクリクラウンの存在を知ってもらい、支援してもらうため、講演会やワークショップ、活動報告会を行っています。

研修会・ワークショップの実施

クリクラウンが大切にしているのは、子どもとの円滑なコミュニケーションです。協会では、毎日の生活に活かすことができるコミュニケーション講座や、医療・福祉従事者を対象とした接遇研修や講演会も実施しています。



支援の方法

寄付をする

ご寄付は、小児病棟へのクリクラウンの派遣費用に役立てられます。

スポンサーになる

宣伝物や広報面でのご支援や協会の活動をサポートして下さる企業や団体を募集しています。

会員になる

協会の活動を支援して下さる会員を募集しています。詳しくは、協会ホームページを御覧ください。

関連イベントに参加する

「RED NOSE DAY～1万人の笑顔大作戦～」に参加しませんか？
詳しくは、
<http://www.akaihana.jp/>
まで



クリクラウン派遣事業 2010年度実績



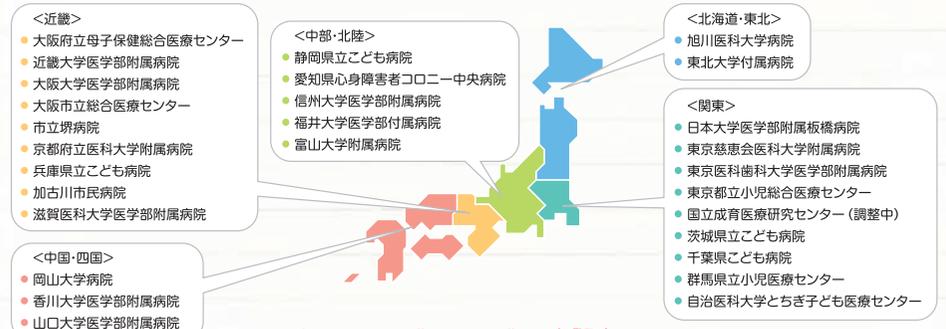
訪問病院数の推移 (2005年度実績～2011年度予定)



病棟スタッフからの声 (アンケート集計報告 2010年度)

- クリクラウンの介入により、子どもたちの普段見られない表情が見られ、成長を確認できる場面がある。
- 母親が子どもの成長を実感する機会になり、医療スタッフも教えられることがたくさんある。
- 毎日治療をする環境で、緊張している子どもが、治療以外のことで満たされる時間ができる。
- 長期入院の患児にとって「次はいつ来るの?」と入院生活に楽しい目標ができた。
- クリクラウンがコミュニケーションを持つ機会を作っている。
- 家族の思いや気持ちを知る機会になった。
- 医療スタッフや家族が思わず笑顔になり、緊張やストレスも軽減される。

2011年度訪問病院 (2011年3月末現在)



～すべての子どもに子ども時間を～



特定非営利活動法人 日本クリクラウン協会
〒552-0021 大阪市港区築港2-8-24 piaNPO 401-d
TEL 06-6575-5592 FAX 06-6575-5593
E-mail info@cliniclowns.jp
<http://www.cliniclowns.jp>

このパンフレットは、赤い羽根共同募金の助成を受けています。

デザイン:おつかつひろみ